

平成22年度第1回成田市コミュニティバス等交通会議概要

1 開催日時

平成22年4月21日(水) 午後3時00分～午後4時10分

2 開催場所

成田市花崎町760番地

成田市役所 議会棟3階 執行部控室

3 出席者

(委員)

深山会長，飯島副会長，谷口委員，大澤委員，吉岡委員，根本委員，古関委員，伊藤委員，遠藤委員，伊東委員，鶴澤委員，佐藤(守)委員，佐藤(克己)委員，篠塚委員，相内委員(代理 山崎)，川口委員，今泉委員，関川委員

(事務局)

渡部市民生活部長，交通防犯課 葛生課長，鈴木副主幹，秋山副主幹
山倉主任主事

4 議題

議事

(1)遠山、大室・小泉、水掛ルートの運行委託の更新について

報告事項

(1)アンケート調査について

5 議事(要旨)

(1) 遠山、大室・小泉、水掛ルートの運行委託の更新について

事務局より、各ルートにおける市民等からの要望事項及びその課題について、資料に基づき説明し委員から意見をいただいた。

その概要は次のとおりです。

遠山ルートの要望1

事務局： 朝の便が混んでいるので増便してほしいとの要望について、このルートは三里塚方面を運行している路線バス事業者と競合することから、バス事業者との協議が必要になる。

委員： 増便をすると路線バス事業者への影響があるとのことで

あるが、どのような影響があるのかと質問があり、バス事業者側委員から、増便をすることにより、コミュニティバスの料金が安いので、路線バスの利用者がコミュニティバスに流れることから影響があるとの意見が出された。

遠山ルート of 要望2

事務局： 長原バス停と三里塚コミュニティセンターの中間点「桜川」にバス停を設置してほしいとの要望について、要望箇所は千葉交通とJRバスのバス停に近く、路線バス事業者と競合する箇所のため、バス停設置にあたってはバス事業者との協議が必要である。

委員： コミュニティバスのバス停を設置すると、路線バス事業者への影響があるとのことであるが、どのような影響があるのかとの質問があり、バス事業者側委員から、路線バスのバス停から300メートル以内に、新たにバス停を設置すると、バス事業者の基準からすると徒歩圏内であることから影響があるとの意見が出された。

大室・小泉ルート

事務局： 小泉地区から、利便性向上のため野毛平工業団地東側の集落を運行してほしいとの要望について、要望どおりにルート変更すると、現在運行しているルート上にある2ヶ所のバス停の運行が不可能になる。

委員： 事務局において、小泉地区と調整するよう意見が出された。

水掛ルート

事務局： 下総地区芙蓉邸街への迂回便を増やしてほしいとの要望について、このルートは、平成21年8月から上下各1便の迂回運行を開始したところであるが、迂回に要する時間が1便当り6分程度かかることと、乗降状況が芙蓉邸街バス停で3日に1人程度の利用状況となっており、迂回便を増やすと通勤・通学のために利用している方々が、現状より更に時間がかかることになる。

委員：利用者あつての増便要望であるので、利用者が少ないのに増便するのはどうかとの意見があつた。

共通ルート

事務局：コミュニティバスの成田駅への乗り入れについて、高齢者等の方で、コミュニティバスに乗って市役所前のバス停で下車し、駅まで徒歩で行って、更に駅前から他の交通機関で病院等へ行かれる利用者があり、このような方から駅への乗り入れの要望がある。駅前には千葉交通やJRバス等のバスやタクシー乗場もあり、コミュニティバスのバス停を設置できるスペースがあるかどうかなどの検討が必要である。

委員：コミュニティバス本来の目的は、公共施設等への交通を確保することが主な目的ではなかつたのではないのかとの意見が出された。

事務局：本日提案している3ルートについて、委員からの意見を基に、路線バス事業者等の関係者と協議を進め、次回会議までに改善に向けての対応策を提案いたします。

6 報告事項（要旨）

（1）アンケート調査について

事務局：3ルートの契約更新にあたり、利用者の声を改善内容に反映させることを目的に、沿線地区住民の中から無作為に2,500人を抽出しアンケート調査を実施している旨説明する。

7 傍聴

（1）傍聴者

1人

8 次回開催予定

平成22年6月下旬